

森林科学

教 科	農 業	単 位 数	2 単 位	学科・学年	森林科学科・2年
使用教科書	森林科学（実教出版）				
副教材など	プリント・作成資料等				

科目の概要、到達目標

○森林の育成、保全と木材の生産に必要な知識と技術を習得し、森林の役割や生態について理解するとともに、森林の保全と利用を図る能力と態度を身に付けます。  
 ○校外実習を活用して、地域林業の実態を捉えて、森林科学に関する諸問題を解決する能力を身に付けます。

学習計画、自己評価

期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	自己評価	
前 期	4	1 植生遷移と森林の発達段階	(1)植物群落の遷移 (2)遷移と森林管理 (3)遷移と森林の管理の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物遷移のメカニズムを理解する。( )</li> <li>・遷移の理論と森林管理を結びつけて考えることができる。( )</li> <li>・木曾ヒノキ天然林の成り立ちについて理解する。( )</li> </ul>	( ) ( ) ( )
	6	2 森林の多面的機能	(1)森林の多面的機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林が川・海の生態系に深く関わっていることを理解する。( )</li> </ul>	( )
	7	3 森林の施業技術や管理技術	(1)生産林の施業技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さし木苗の育成方法を理解する。( )</li> <li>・常緑広葉樹のさし木ができる。( )</li> </ul>	( ) ( )
	8 9	4 森林の多面的機能	(2)森林の多面的機能の発達と階層性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的機能を総合的に発揮させる方法をできる。( )</li> </ul>	( )
後 期	10	5 森林の機能と目標林型	(1)生態系サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系サービスの種類と関係性を理解する。( )</li> <li>・身近な保安林や保護林の種類を調べ、現状を理解する。( )</li> </ul>	( ) ( )
	11	6 森林の施業技術	(1)生産林の施業技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実生苗の育成方法を理解する。( )</li> <li>・実生苗の良し悪しが判別できる。( )</li> </ul>	( ) ( )
	12			(岐阜県森林研究所の見学)	( )
	1 2 3	7 目標林型とゾーニング	(2)目標林型とゾーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゾーニングとその方法を理解する。( )</li> <li>・地域の現状に応じたゾーニングを理解する。( )</li> <li>・GIS技術を理解する。( )</li> </ul>	( ) ( ) ( )

評価の観点、方法

○観点別評価  
 a 知識・技能（技術）      b 思考・判断・表現      c 主体的に学習に取り組む態度  
 ○観点別評価の方法  
 定期考査、授業での行動観察、提出物（課題プリント・授業ノート）、振り返りシート、パフォーマンステスト、発表などによって、ABCの3段階で評価します。  
 ○観点別評価を均等に総括して評定（5段階）を決めます。

定期考査の範囲、課題

前 期	中間考査範囲	
	期末考査範囲	
期	夏休みの課題	
後 期	中間考査範囲	
	学年末考査範囲	
	冬休みの課題	